

# ボランティアセンター 東日本震災ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック有志

No.15 2011年5月22日

発行担当 尼崎医療生協・堤

## 神戸医療生協から支援隊到着！



本日、午前6時に神戸医療生協より21名からなる支援隊がしばた協同クリニックに到着しました。21日の夕方に兵庫県を大型バスに乗って出発し、車中泊の後宮城入りするという厳しいスケジュールにも関わらず、精力的に支援活動が行われました。

午前には坂元中学校跡仮設にて健康チェックと神戸からの支援物資の配給。午後は津波の被害が甚大である花釜地域を中心に、二組に分かれて、訪問行動と県南医療生協の組合員さんのお宅の泥かきをさせていただきました。

## 花釜地域の実態調査

花釜地域は居住禁止区域に指定されていますが、現実問題としてこの地域で生活されている方も存在しています。今回の訪問行動では、この地域で生活をされている方、アパートや避難所などで生活されているが、この地域内にある自宅に通われている方がどれくらいいらっしゃるのかという点を調べるのが目的でした。

具体的な数字としてはまだまだ調査中ですが、地域にいらっしゃった方のお話によると「新聞が40部ほど配られているので、その程度には存在するのではないか」ということです。

いろいろな方にお話しを伺う中、つかめてきた実態としては、花釜地域は居住禁止区域のため物資が届かず、非常に厳しい状況に置かされているということです。しかし、それでも自分の家に住みたいという人は多く、早急な支援が必要となっています。



## 佐井さんお疲れさまでした



リフレッシュ休暇でツーリングの途中に支援のために槻木センターに寄って行ってくださった佐井さんが21日午前には帰られました。お疲れさまでした。

代わって、同日21日、尼崎医療生協から堤と、本日22日、神戸医療生協支援隊から組合員の豊田さんが支援に加わります。堤は、30日、柴田さんは25日までこちらで頑張らせていただきます。よろしくお祈りします。